

地域住宅計画の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	地域住宅計画 松戸市地域（四期）
②都道府県名	千葉県
③計画作成主体	松戸市
④計画期間	令和3年度 ～ 7年度
⑤計画の目標	『安全で居住水準が確保された住まいづくりを実現する。』 『地域の住環境向上に寄与する住まいづくりを実現する。』 『市内への定住促進を図る。』 『分譲マンションの管理状況を把握し、管理組合による適正な維持管理を推進するとともに、老朽化したマンションの再生の円滑化を推進する。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	計画作成主体である松戸市が独自で実施。（令和8年4月）
⑦事後評価の結果	指標①：「定住した世帯員数」 定 義：子育て世帯親元近居・同居住宅取得補助金の交付申請件数（計画期間の積算値）によって定住した世帯員数（計画期間の積算値） 評価方法：同補助金の交付申請および申請者の世帯員数 結 果：従前値：2,965人（R3年度）⇒目標値：6,444人（R7年度）⇒<u>実績値：4,230人</u> 結果の分析：計画期間中に本補助金と併用不可である同種の補助金が始まったことに伴い、申請件数が右肩下がりとなり、それに伴い定住した世帯員数も減となり目標を下回る結果となった。 指標②：「既存市営住宅の長寿命化型改善」 定 義：市営住宅における給排水管の長寿命化型改善実施の住宅の割合（借上住宅を除く） 評価方法：長寿命化工事実績による集計 結 果：従前値：35%（11/31棟）（R3年度）⇒目標値：77%（24/31棟）（R7年度）⇒<u>実績値：75%（21/28棟）</u> 結果の分析：公営住宅等長寿命化計画に基づき給排水管の改善を行ったが、ハケ崎住宅の用途廃止により改善済み棟数が減った為、目標値を下回る結果となった。 指標③：「分譲マンションの管理状況把握」 定 義：分譲マンション実態調査の調査対象となるマンション管理組合数に対する管理状況の把握割合 評価方法：分譲マンション実態調査 結 果：従前値：66%（361/547棟）（R3年度）⇒目標値：100%（R7年度）⇒<u>実績値：100%</u> 結果の分析：令和6年度に実施した分譲マンション実態調査において把握している市内分譲マンションにアンケート調査を行い、回答がなかったマンションについても現地調査を行ったことから、目標を達成することができた。
⑧結果の公表方法	松戸市のホームページに掲載
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	（事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画に反映すべき事項や目標を達成するための措置等を記載。地域住宅協議会等において協議を行った場合はその旨を記載。） 分譲マンションの管理状況の把握については目標を達成しているため、次期地域住宅計画においては市内分譲マンションの維持管理の適正化を推進するためのさらに踏み込んだ目標を定める必要がある。
⑩その他	（特記すべき事項があれば記載） 特になし

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。